



安全にご利用いただくにあたって

この注意事項は、お客様がハウスを安全にご利用いただくためのものです。

誤った取り扱いによって生じることが想定される内容を「**警告**」「**注意**」の2つに分け、掲載しています。必ずお守り下さい。



警告：使用者が死亡または重傷を負う恐れがある内容



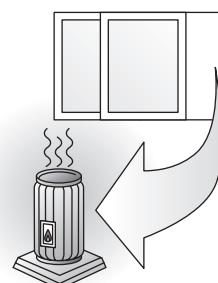
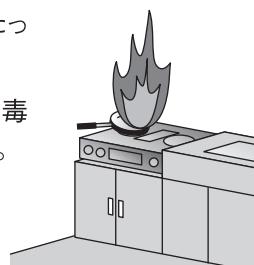
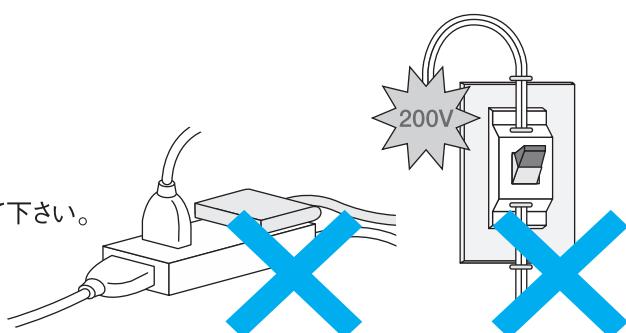
注意：使用者がけがをしたり、物的損傷を受ける恐れのある内容



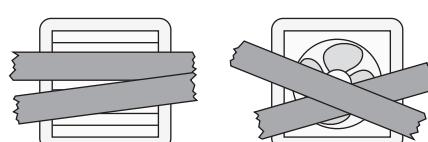
警 告

【ご使用にあたっての警告】

- 電気1次側引き込み工事は、電気工事店の技術者に依頼して下さい。
- 交流100V以外の電圧では使用しないで下さい。
- タコ足配線はしないで下さい。
- 改造、修理が必要な場合は専門業者に依頼して下さい。
ご自分でされた場合、事故もしくは機能を損傷する恐れがあります。
- ハウスシリーズを、2階建でご利用される場合は、2階部階段の無いドアは常に施錠し、誤って転落しないよう、心掛けて下さい。
- 内外装には不燃材を使用していませんので、火気のご使用にあたっては火災にご注意下さい。
- ポータブル型の白灯油ストーブ等をご利用の場合、一酸化炭素中毒になる恐れがありますので、1時間毎に窓を開けて換気して下さい。
- 換気孔・換気扇をテープで防がないで下さい。



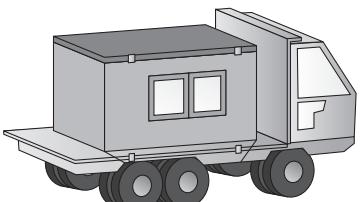
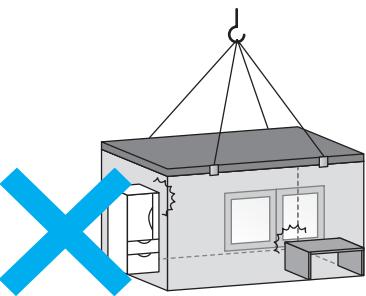
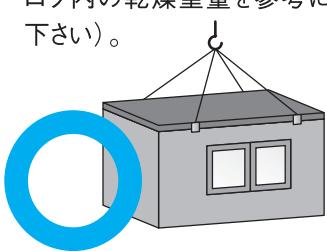
- 積雪地域でご利用になる場合は、屋根に降り積もった雪が50cm以上になりましたら、雪下ろしを行って下さい。
また、雪下ろしの際は、屋根面に傷をつけない様に十分注意して下さい。
- 屋根の上は滑りやすいので、屋根の上で作業される場合は、命綱等で安全を確保して下さい。



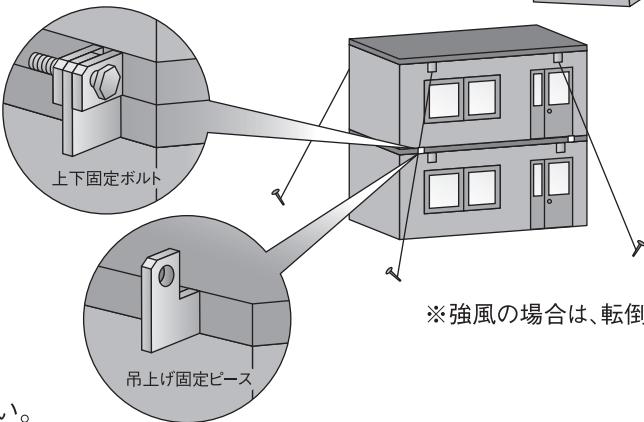


【輸送または設置にあたっての警告】

- 輸送の際、荷台からずり落ちないようにレバーブロック等でハウス本体と荷台とを固定して下さい。
- ハウスを吊り上げる場合は、安全のため4本のワイヤーロープを吊り金具に掛け、4点吊りにして下さい(ワイヤーロープの選定は、カタログ内の乾燥重量を参考にして下さい)。
- ハウス内に什器備品や重量物を入れたままで吊り上げないで下さい。
- 連棟型のハウスを組立した状態のまま吊り上げると吊り金具が破損し落下する恐れがありますので吊り上げないで下さい。



- 強風が吹く地域ではトラワイヤーを4点以上張って固定して下さい。
- 2階建ての場合は専用のボルトで上下階を固定して下さい。



※強風の場合は、転倒防止策

注意

- 換気扇を使用中、中に手や物を入れないで下さい。
- 蛍光管・電球・窓ガラスを破損しないように、十分気を付けて下さい。ガラスの破片で怪我をする恐れがあります。
- ハウスは木材や鉄板などによって作られています。トゲや釘、また鋭利になっている鉄板折り込み部などで怪我をする場合がありますので、十分ご注意下さい。
- 輸送中、振動・衝撃により、窓・ドアのガラスが破損する恐れがありますので、窓はクレセント部をロックし、ドアは必ず施錠して下さい。
- 連棟型のハウスを輸送する場合、風圧により窓ガラスが外れ飛ぶ恐れがありますので、専用ハウスシートをご利用下さい。
- ハウス内部に備品(机・椅子等)を入れたままで輸送しますと、内装を損傷させたり、窓から外部に落下する恐れがありますので、物を入れたままでは輸送しないで下さい。
- 輸送される際、車種の違いにより車高が高くなる場合がありますので、3.8m以上にならないように十分高さに注意して下さい。
- ハウスを設置する場合は、安全の確保の出来ない場所への設置はしないで下さい。平坦な場所、もしくは木杭・東石等により水平にハウスを設置して下さい。
- ハウスの電源
 - 1) 2P30Aホーム分電盤に電源を入れて下さい。(29型・キッチンハウス・階段風除は、2P20A漏電ブレーカが付いています。)
 - 2) 渡り線(連棟ハウスの電源を端から端に流すための線)は、真ん中の点検口に入っています。
 - 3) 繋ぎ方は、同じ色の被覆の線(グレーはグレー、白は白)同士をつないで下さい。グレーはコンセント回路、白は照明回路になっています。
- 中間ハウス
 - 1) 中間ハウスの電気は1棟、1棟独立になっています。必ず1棟ごとに、電源引き込みをして下さい。
 - 2) 渡り線は、端と端を結ぶための線です。

